

小名木川商業施設整備事業

Onagigawa Shopping Center

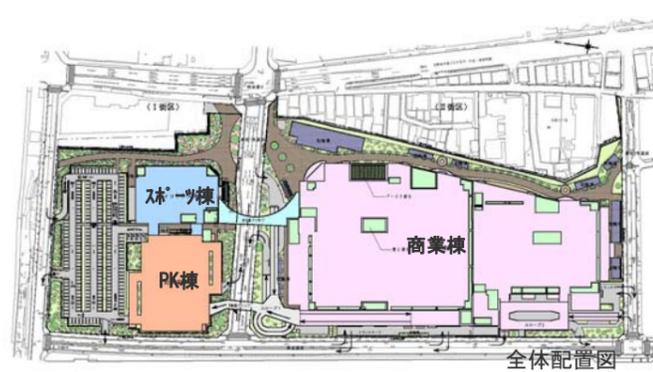
No. 21-005-2010作成
新築
物販

発注者	日本貨物鉄道株式会社	カテゴリー				
設計・監理	株式会社フジター級建築士事務所 ・株式会社安井建築設計事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	株式会社フジタ東京支店	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

地域との共生・環境との共生に配慮した商業施設

開発への想い

この小名木川商業施設整備事業は、もともと発注者であるJR貨物が、長らく貨物駅として利用していた場所である。今回、商業施設ということで形態は変わるが、今後とも地域に溶け込み、地域のための施設でありたいという想いがあった。また、大規模施設を建設するにあたり、可能な限り環境への配慮を計画に盛り込みたいという想いもあった。



主な取組み

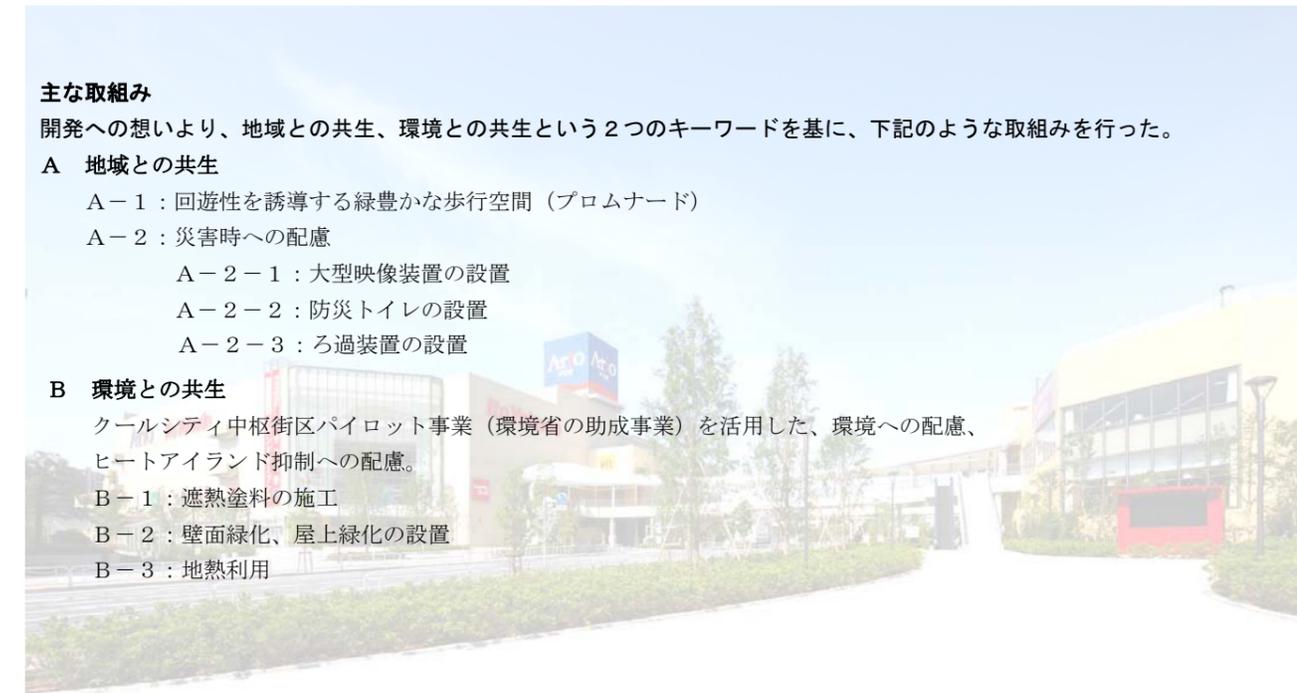
開発への想いより、地域との共生、環境との共生という2つのキーワードを基に、下記のような取組みを行った。

A 地域との共生

- A-1：回遊性を誘導する緑豊かな歩行空間（プロムナード）
- A-2：災害時への配慮
 - A-2-1：大型映像装置の設置
 - A-2-2：防災トイレの設置
 - A-2-3：ろ過装置の設置

B 環境との共生

- クールシティ中枢街区パイロット事業（環境省の助成事業）を活用した、環境への配慮、ヒートアイランド抑制への配慮。
- B-1：遮熱塗料の施工
- B-2：壁面緑化、屋上緑化の設置
- B-3：地熱利用

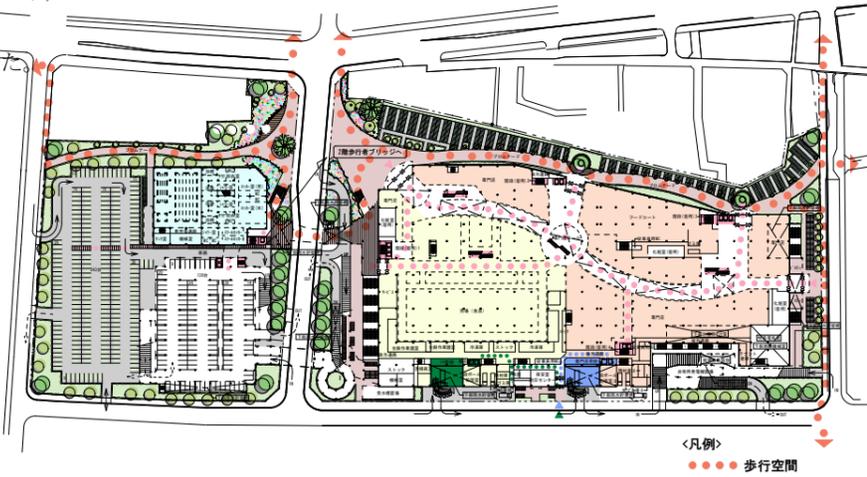


建物データ

所在地	東京都江東区
竣工年	2010年
敷地面積	56,307㎡
延床面積	105,382㎡
構造	FSRPC（柱RC・梁S）造一部S造
階数	地上4階（一部5階）、塔屋1階

A-1：回遊性を誘導する緑豊かな歩行空間（プロムナード）

- ・近隣商店街等との回遊性や近隣住民の通り抜け、災害時の導線確保を考慮し、敷地内に歩行空間を設けた。



A-2-1：大型映像装置の設置

- ・通常時は販促、災害時の情報発信に利用。



A-2-2：防災トイレの設置

- ・マンホール型トイレを外部に5個設置。



A-2-3：ろ過装置の設置

- ・災害時に飲料水をつくれるように設置。



B-1：遮熱塗料の施工

- ・太陽熱を反射するために屋上に遮熱塗料を施工。

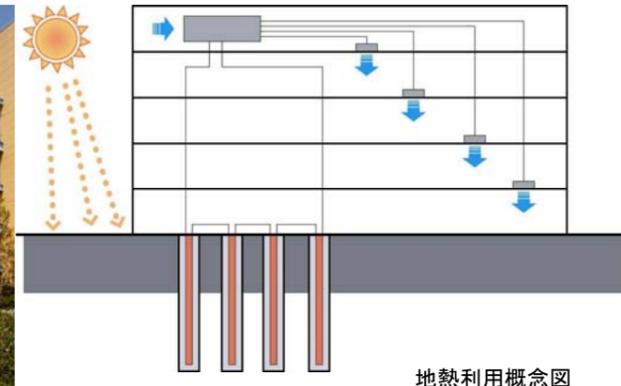


B-2：壁面緑化、屋上緑化の設置

- ・空調負荷軽減、CO2削減のために設置。デザイン性も考慮した形態で設置。

B-3：地熱利用

- ・外気を空調機に入れる前に、地熱により温度を上下させることで、空調負荷軽減、CO2削減につながる。



設計担当者

建築：東義雄、中静直樹、早野兼生、弥久保元治、神田信孝、久米麻子
構造：東毅洋、伊藤直美／設備：佐々木 和克／電気：原 弘幸

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（壁面緑化、屋上緑化）
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮（歩行空間の形成）
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制（遮熱塗料）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（地熱利用）
- LR3. 2. 地域環境への配慮（遮熱塗料、壁面緑化）